

第9回はしもとCafé ミーティングが開催されました ～高齢者が住みやすい“まち”ってどんな“まち”？～

■開催日時 平成28年7月21日(木) 9:30～11:30

■開催場所 保健福祉センター

平成28年7月21日(木)に、高齢者が住みやすいまちについて意見交換を行いました。参加者22名が4つのグループに分かれ①地域の良いところ。魅力、誇れるところ②地域で困っていること、不便なところ、住みにくいところ③「住みやすいまち」にしていくためにあなた（地域）ができること、行政に望むこと④「住みやすいまち」はどんなまち？の4つのテーマについて意見を出し合いました。

各グループから出された主な意見

①地域の良いところ。魅力、誇れるところは？

- ・水がきれい
- ・自然（緑）が豊富（環境がいい）
- ・季節毎に祭りがあり地域で交流がある
- ・各地域に公民館があり交流の拠点になっている
- ・「げんきらり～教室」「地域サロン」「老人クラブ」「グラウンドゴルフ」など高齢者が活発に活動
- ・野菜がおいしい
- ・地域に繋がりがあがる
- ・待機児童がない
- ・田舎にも都会にも近い
- ・コミュニティバスがある
- ・道路が整備されたので便利になった

②地域で困っていること、不便なところ、住みにくいところは？

- ・車の運転ができなくなったら買い物や外出ができない不安
- ・車社会なので車をもたない者にとっては不便
- ・歩道が狭いので危険
- ・近くに食料品店がない
- ・若い世帯が少ない(地域の高齢化)
- ・子どもが安心して遊べる場所が少ない
- ・移動手段がなくなると引きこもりになる
- ・気軽にいける喫茶店がない
- ・災害が発生したときが不安
- ・農業の後継者不足（耕作放棄地や休耕田の増加）
- ・坂道が多いので今後の生活が不安
- ・ひとり暮らしの高齢者への関わりかた
- ・コミュニティバスがあるが近くにバス停がない（買い物用のバス等あれば）
- ・老人クラブに入らない高齢者が多い
- ・地域の事業などへの男性高齢者の参加が少ない
- ・空き屋の増加

[当日の進行]

- ◇開催あいさつ
- ◇橋本市の状況説明
- ◇意見交換会
グループ
 - ・自己紹介
 - ・意見交換
4つのテーマを各グループで意見を出し合う
 - ・グループ発表
各グループで出た意見を発表し、全体で共有する
- ◇市長講評



③「住みやすいまち」にしていくために、あなた(地域)ができることは？また、行政に望むことは？

○あなた(地域)ができること

- ・高齢者サロンの充実
- ・子どもと高齢者の交流
- ・今日(Café ミーティング) 出会った方と今後も仲良くしたい
- ・「共育コミュニティ」の輪を広げる
- ・少人数でもいいので仲間づくり
- ・男性を外に引っ張り出していく
- ・歩いて行けるところに集える場所づくり
- ・公民館をもっと活用したい
- ・自分自身が健康でいること
- ・地域(近所)での声かけ
- ・「困ったときはお互いさま」の関係づくり
- ・地域でのボランティア
- ・市主催事業などに参加し介護の世話にならないようにする
- ・自分が知った情報を地域で伝える
- ・高齢者への声かけ

○行政に望むこと

- ・地域で意見交換会ができる機会を作って欲しい
- ・コミュニティバスの充実
- ・Café ミーティングで出た意見の活用
- ・ボランティア登録者を活かすシステムづくり
- ・空き屋の活用(若者への工房等に貸出し等)
- ・若者とシニア世代との交流イベント
- ・生活支援ボランティアの養成
- ・げんきらり～やサロン等への予算確保
- ・ボランティアは安価だからと押しつけないで欲しい
- ・歩道の整備
- ・要介護認定をスムーズにしてほしい
- ・公園に健康器具の設置
- ・市民の生活実態の把握のために地域に出てきて欲しい
- ・若者も楽しめる場所を作ってほしい
- ・ケアだけでなく若年層からの予防
- ・地域に包括センターを作ってほしい
- ・行政内の連携をスムーズにしてほしい

④あなたの考える「住みやすいまち」はどんなまち？

- ・地域で声を掛けあえるまち
- ・歩いて行ける距離(500m範囲内)に集える場所がある
- ・サロンを有効活用できるまち
- ・移動販売(生鮮食品)がある
- ・だれとでも話せるまち
- ・お互いが見守りあいのできるまち
- ・高齢者になってから取組むのではなく若い世代のうちから声かけ等の必要性を啓発していく
- ・楽しいイベントができるまち(そのための人材育成を)
- ・挨拶のできるまち
- ・自分の意思で生きていけるまち



